

2018 年度事業報告

自 2018 年 7 月 1 日 至 2019 年 6 月 30 日

- 【**真宗保育理念**】 「本願に生き、ともに育ちあう保育」
【**総合テーマ**】 「ともに生き ともに育ちあう保育を実践しよう」
【**事業総括**】

少子高齢化を背景に乳幼児教育・保育が注目を集めるなか、2018 年度は、指針・要領に関する 3 法令の同時改訂（定）や保育者のキャリアアップ体系の構築など、「子ども・子育て支援新制度」の諸施策にも変化が大きい一年間となった。

これまで以上に、保育実践の充実や専門職としての資質向上が望まれる状況となったが、真宗保育の実践においても「大切なことを見つけ続け、考え続け、実践し続ける」（『真宗カリキュラム vol. 3』P13）歩みの大切さをあらためて確認し、以下の重点施策に取り組んだ。

【重点施策】

（1）『真宗保育カリキュラム』を基軸にした事業の展開

① 『真宗保育カリキュラム』の普及・活用

『真宗保育カリキュラム』を基軸とした真宗保育実践をめざし、普及活動や研修会を開催した。

② 普及・活用のための人材養成、実践体験の還元

『真宗保育カリキュラム』を「語れる人」の誕生・育成が必要とされている現状にあって、従来の「加盟園交流研修会」を「設置者・園長等研修会」として、また、従来の「表現研修会」は「カリキュラム研修会」として開催した。

2つの研修をはじめ『真宗保育カリキュラム』にふれる機会が増えたことで、真宗保育の理論のみならず、具体的な実践体験を共有する場の充実につながることを期待される。

（2）研修テーマ「そだつ」の更なる展開への取り組み

① 第 18 回全国真宗保育研修大会（金沢会場）の開催

期 間：2019 年 7 月 6 日（土）～7 日（日）

会 場：（1 日目）ホテル金沢、（2 日目）石川県立音楽堂

講 師：基調講演 木越 康氏（大谷大学学長）

記念講演 鈴木 みゆき氏（国立青少年教育振興機構 理事長）

西東 桂子氏（幼児教育ジャーナリスト/編集者）

分科会：北陸連区、協会研修部担当による 5 分科会の実施

② 次期研修テーマの検討に向けた取り組み

研修テーマ「そだつ」の継続とともに、一昨年の第 17 回全国真宗保育研修大会（高山大会）にて発表したサブテーマ「一人ひとりの『そだつ』にであう」に沿った諸研修の内容を実施し、研修テーマと『真宗保育カリキュラム』の活

用についても協議検討した。

また、次期研修テーマ策定に向け、研修テーマの実践について総括した上で協議検討した。

③ こどものうた 第3期制作

第3期は公募の形を変更し、シンガーソングライターの中川ひろたか氏（第1期より継続）の作詞・作曲によるこどものうた（1曲）を制作し、2018年12月に楽曲配信を行った。うたは引き続き、シンガーの陽香（はるか）氏（第1期より継続）にレコーディングを依頼した。

併せて『こどもニュース7』（第13号「第3期こどものうたできました」）を作成発行し、広報活動を行った。

また、2023年の宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年に向けて、親しみのある事業となるよう、「こどものうた」が保育現場やお寺の子ども会、また一般の方々にどう受けとめられているのか感想や意見を集約し、次期以降の制作に向けて体制の検討を行った。

（3）保育心理士会による保育心理士の活動支援の充実

① 保育心理士養成校の拡充

本年度より真宗大谷派学校連合会の幹事校である大谷大学において、保育心理士（二種）養成が開設され、今後、学術的表現を展開するべく土壌整備を行った。

また、真宗大谷派関係学校の枠を越えて、さまざまな大学において保育心理士の養成がなされるよう、引き続き、情報の提供と学校との関係構築を推進し、それに伴う事務作業の負担軽減への対応も検討した。

② 保育心理士養成講座のキャリアアップ研修認定

国における保育士等のキャリアアップ体系の構築の動きに際して、真宗保育の理念を基として、積極的に当資格の人員育成を推進するために、京都をはじめとし同講座を開催している都道府県での認定手続きを進め、全国的広がりを模索した。

【認定都道府県：福岡県、岐阜県・兵庫県・熊本県・鹿児島県・愛知県】

（4）協会組織の機構充実、人材発掘

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年に向けた準備がすすむ宗派の状況にあつて、協会としても“真宗同朋会運動における青少幼年教化を担当する役割”を確かめ合い、かかわっていただく仲間、同志の広がりを指向した。

I 幼児教育、保育内容充実向上事業（公益目的事業）

I-1 調査研究事業

真宗保育は子どもたちだけではなく、保育者も成長させるものでなければならない。そのような保育となるために、真宗保育についての基礎的研究を行う。真宗保育の理念、実践方法などについて研究を行った。

また、この研究結果を頒布事業、研修、資格認定事業などに反映し、真宗保育の公共性をはかった。

(1) 基礎研究

- ① 真宗保育についての基礎的理論構築のために「真宗保育研究所会議」を引き続き開催した。研究会では富岡量秀先生をお招きし、先生の著書『真宗保育をデザインするⅡ—カリキュラム・マネジメントへの視座—』（真宗保育ブックレットシリーズ 16）について、意見交換会を開催した。
- ② 真宗大谷派学校連合会大学部会による「真宗保育研究会」に当協会の担当者及び研究所員が参加した。研究会では外部の有識者や、学校連合会加盟校職員との意見交流が活発に行われ、真宗保育の公共化をすすめた。
期 日：2019年1月28日（月）
会 場：真宗大谷派宗務所
講 師：井上 和久氏（大谷大学准教授）
協淵 徹映氏（幼保連携型認定こども園『ながらこどもの森』園長）
研究発表：山本 将之氏（大阪大谷大学教育学部講師）
出席者：朝倉益光・古賀成麿・那須信純
田村晃徳・鷹橋賢淳・藤谷 博紀
- ③ 『真宗保育カリキュラム』の一層の普及・深化への具体的方法を協会各部門と連携しながら考察していく。例えば、教材作成への提言・意見交換（研修部・出版部）、各園における『真宗保育カリキュラム』の使用法・具体的反応の収集と紹介（広報部）、各研修会への講師派遣（研修部）などの推進を図った。
- ④ 真宗大谷派学校連合会大学部会による「真宗保育研究会」に当協会の担当者及び研究所員が参加した。研究会では外部の有識者や、学校連合会加盟校職員との意見交流が活発に行われ、真宗保育の公共化をすすめた。

(2) 臨床研究

- ① 臨床心理士会や学校心理学会などが学校現場で活躍し、かつ保育の現場に対応すべき人材の養成などを検討していることに鑑み、保育心理士の学問的根拠を明確にし、保育心理学会の設立を視野に入れた調査研究を実施し、その土壌養成のため「保育心理研究会」を開催した。

・第11回保育心理研究会

期 日：2019年1月13日（日）

会 場：大谷大学（慶聞館）

講 師：武谷茂氏（久留米大学小児科非常勤講師・元たけや小児科医院院長）

テ ー マ：『ビジュアル学習：保育における印象的判断/診断～予診・子ども
の反応・顔つき～』

分 科 会：（１）「乳児期の愛着形成～ふれる大切さ・抱き癖について考える～」

（２）「①わかってほしい、ぼくのきもち②気になる子の事例」

（３）「保護者に寄り添う子育て支援「参加者体験型」：五感体験・
ふれあい遊び・絵本とわらべうた」

（４）「温かい関わりを大切に」

② 保育相談及び育成指導

研究事業、研修事業、認定事業で蓄積された技術や知識をもって、各保育施設における保護者への子育て相談及び保育者の育成指導を行った。

I-2 教材・書籍・研究誌頒布事業

研究事業、研修事業、認定事業の成果をもとに、保育内容の充実を図るための教材を、ホームページやパンフレット、研修での広報を活用して頒布に努め、効果的な教材頒布の方法についても検討した。

また、園児の絵画を募集し、御正忌報恩講期間中、真宗本廟（東本願寺）や京都駅地下ギャラリーに展示する園児絵画展を開催した。また、応募作品の一部で「しんしゅうこどもかれんだー」を発行し、市民に子どもたちの姿を伝えた。

また、保育者の資質の向上に資する機関誌や書籍等を頒布し、子育てに関する情報提供を行った。

(1) 保育教材の頒布

① 各教材の頒布

既存教材については前年度程度の頒布を行った。

※2019年6月末時点(2018/7/1～2019/6/30)

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
合掌人形 しんらんさま	550 円	320 円	500	180
うでわ念珠 青 子ども用	150 円	124 円	2000	327
うでわ念珠 青 大人用	150 円	134 円	1000	464
うでわ念珠 ピンク 子ども用	150 円	124 円	1000	462
うでわ念珠 ピンク 大人用	150 円	134 円	1000	476
白念珠	120 円	105 円	-	550
念珠袋	280 円	235 円	-	852
おつとめちょう	100 円	40 円	-	6,059
真宗保育者手帳	500 円	480 円	-	36
真宗保育のカリキュラム入門	530 円	240 円	-	458
八女ちょうちん	180 円	107 円	930	0
しんしゅうこどもかれんだー	270 円	238 円	6500	948
真宗保育の源流をたずねて	200 円	186 円	-	63
真宗保育カリキュラム vol.1	1,500 円	1,827 円	-	66
真宗保育カリキュラム vol.2	1,000 円	859 円	-	24
真宗保育カリキュラム vol.3	1,000 円	575 円	-	405
こどものうた①「誕生」CD	500 円	388 円	-	83
こどものうた②「そだつ」CD	500 円	337 円	-	0
こどものうた③ ぼくたちこども	200 円	-	-	-
こどものうた③ ぼくたちこども (カラオケ)	200 円	-	-	-

〈真宗保育ブックレットシリーズ〉

教材・物品名	価格	仕入値	仕入数	在庫
2. アイヌ民族文化と子育て	280 円	200 円	-	318
3. 本当に大切なこと (一楽真)	280 円	105 円	-	0
4. なぜ浄土なのだろうか (中川皓三郎)	240 円	115 円	-	163
5. いのちの教育のすすめ (田代俊孝)	240 円	145 円	-	680

6. 真宗保育の名で育てたい子ども・人間 (加藤守孝)	220 円	134 円	-	717
7. あそび (宮城顛)	220 円	127 円	-	757
8. 敬うとは何か (加藤祐伸)	240 円	138 円	-	70
9. 宗祖としての親鸞聖人に会う (池田勇諦)	110 円	50 円	-	896
10. 真宗と保育 (一楽真)	280 円	105 円	-	268
11. いのちありがとう (真城義麿)	240 円	151 円	-	718
12. 誕生 (三明智彰)	220 円	110 円	-	919
13. 真宗保育をデザインする (富岡量秀)	250 円	160 円	-	702
14. 唯我独尊の教え-誕生の意味-(吉元信暁)	240 円	175 円	-	628
15. 「する」から「ある」へ —養育論の試み— (芹沢俊介)	350 円	125 円	2000	1492
16. 真宗保育をデザインするⅡ —カリキュラム・マネジメントの視座— (富岡量秀)	300 円	165 円	1800	1668

(2) 新教材の発行

①保育心理士養成講座等で活用できるようテキスト・教材の編集・作成を行った。

②真宗保育ブックレットシリーズ 15 「する」から「ある」へ—養育論の試み—

著 者：芹沢 俊介氏

発 行 日：2018 年 9 月 1 日

発行部数：2,000 部

内 容：「第 16 回全国真宗保育研修大会」の記念講演をもとに加筆

価 格：350 円

③真宗保育ブックレットシリーズ 16

真宗保育をデザインするⅡ—カリキュラム・マネジメントの視座—

著 者：富岡 量秀氏

発 行 日：2018 年 9 月 1 日

発行部数：1,800 部

内 容：『真宗保育をデザインする』第 2 弾

価 格：300 円

④2019 年版『しんしゅうこどもかれんだー』

発 行 日：2018 年 9 月

発行部数：6,500 部

内 容：2017 年度報恩講園児絵画展への出品作品から選ばれた絵画を用いたかれんだー

価 格：270 円

⑤第 3 期こどものうた配信

配 信 日：2018 年 12 月 14 日(シングル)

2018 年 12 月 15 日(カラオケ)

曲 名：「ぼくたちこども」

(作詞・作曲：中川ひろたか・歌：陽香(haruka))

価 格：200 円

⑥こどもニュース7（第13号）

テ ー マ：第3期「こどものうた」の配信について

発 行 日：2019年2月1日

【2020年版『しんしゅうこどもかれんだー』制作にかかる会議】

かれんだー掲載絵画選定：2018年11月16日（金）

トリミング作業：2019年3月18日（月）

【出版部会】会場：真宗大谷派宗務所

2019年3月26日（火）、2019年6月19日（水）

Ⅱ 幼児教育、保育関係者の資質向上事業（公益目的事業）

Ⅱ-1 研修事業

研修会においては、参加者の経験年数に応じ、新たな視点・視野を発見することにより、現場での保育実践に望めるよう研修内容をより深める取り組みを進めた。

また、第17回全国真宗保育研修大会(高山)で発表した研修テーマ「そだつ」のサブテーマ「一人ひとりの『そだつ』にであう」のさらなる周知と各支部での研修テーマに基づく研修の奨励を行った。

保育者が、日々の保育実践において、子ども一人ひとりの「そだつ」にであえているか、である自分であるためにどうあるべきか、研修を通して学び、保育現場での実践が確かなものになるよう研鑽に努めた。

(1) 研究会・研修会事業

① 第62回仏教保育大学講座 事前学習会

期 間：2018年7月11日（水）

会 場：真宗大谷派宗務所

参 加 者：仏教保育大学講座 指導員・生活指導員

② 第62回仏教保育大学講座（真宗十派共催・真宗大谷派当番）

誰しもが数年の保育経験によって、自分の保育に対して限界を感じたり、さまざまな悩みが生じる。それらの事柄に向かいあえるよう親鸞聖人の教えに耳を傾け、自らの保育経験を省みる機会とした。

少人数のグループ討議をするなかで、保育者自身の自己発見をすることにより保育観や保育姿勢を確認し深めた。

対 象：2年目以上の保育者

期 間：2018年8月1日（水）～4日（土）

会 場：大谷大学・ホテル「洛兆」

講 師：四衢亮氏（高山教区不遠寺住職／「青少年センター」研究員）

讃歌指導：浄土真宗本願寺派総合研究所 研究協力者

参 加 者：99名

③ 第62回仏教保育大学講座反省会

期 日：2019年11月15日（木）

会 場：真宗大谷派宗務所

④ 第63回仏教保育大学講座企画検討会

期 日：2019年3月13日（水）

会 場：浄土真宗本願寺派 伝道本部

⑤ 新任研修会

新任職員が園に従事してもつ戸惑いや疑問を通して、保育の新たな視点や仏教行事をとおして子どもたちに伝えようとする意義について学びを深めた。

対 象：1年目の保育者

期 間：2018年10月12日（金）～14日（日）

会 場：しんらん交流館・大谷大学湖西キャンパスセミナーハウス

テ ー マ：そだつ（『真宗保育カリキュラム』の活用を踏まえて）
講 師：田村 晃徳氏（真宗保育研究所所長・田尻徳風保育園園長）
蓮岡 修氏（きんだあらんど店主・京都市子育て支援いきいき事業代表）
参加人数：17名

⑥ 主任・中堅保育者研修会（奉仕団）

主任・中堅保育者を対象に、真宗本廟で親鸞聖人の開かれた真宗の教えを聞き、日々の保育に資する学びを深めた。

対 象：主任・中堅保育者（保育経験5年以上）

期 間：2019年6月15日（土）～17日（月）

会 場：真宗本廟境内及び研修道場

講 師：佐賀枝 夏文（高倉幼稚園園長）

テ ー マ：そだつ

参加人数：7名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑦ カリキュラム研修会（従来の「表現研修会」を変更）

2017年度まで実施していた表現研修会を、今年度新たに「カリキュラム研修会」として開催した。

『真宗保育カリキュラム』を使用し、真宗保育の理念や保育現場での実践について確認し、日々の保育に資する学びを深めた。

対 象：保育者

期 間：2019年5月18日（土）

会 場：三条別院（三条支部との共催）

講 師：田村 晃徳氏（真宗保育研究所所長・田尻徳風保育園園長）

テ ー マ：『真宗保育カリキュラム』に学ぶ

参加人数：47名

特記事項：保育心理士フォローアップ研修として開催（3ポイント付与）

⑧ 協会主催研修の「キャリアアップ研修」の認定取得

協会主催研修の「保育士等キャリアアップ研修」認定に関し、京都府と協議を進めた。また、先行して、将来、受講証明が可能となるよう、各研修の参加者に受講証を発行した。

【研修部会】会場：真宗大谷派宗務所

2018年7月12日（木）、2018年10月4日（木）、2019年1月8日（火）

2019年2月20日（水）、2019年4月12日（金）、2019年6月17日（月）

II-2 資格認定事業

保育心理士の資格認定、フォローアップに関する事業を行った。

保育心理士が学びの対象としているのは主に、全体の6%ともいわれる、いわゆる「気になる子どもたち」であるが、学びを通して、広く園児全体を見渡せる眼を持つことを目指し、より専門的な保育者の資質向上に努めた。

国や地方自治体とも連携を取りながら、保育心理士資格を拡充し、保育心理士空白県の早期解消を目指した。

また、2013年度から2種資格に有効期限を設けたことに伴い、引き続き1種資格への誘導を促進するとともに年会費徴収の向上を図った。

なお、保育心理士資格取得講座においては、2017年度より開始した保育士等キャリアアップ研修の認定取得に継続して取り組んだ。

【保育心理士認定者数】 一種：2,552名、二種：519名（2019年6月末現在）

【保育心理士養成課程（一種）設置校】 同朋大学大学院

【保育心理士養成課程（二種）設置校】 九州大谷短期大学、京都光華女子大学、同朋大学、飯田女子短期大学、東亜大学、大谷大学、九州産業大学、仁愛女子短期大学

・NPO法人「子どもと保育研究所 ふろほ」

(1) 保育心理士資格取得講座

【本部主催分】

① 京都会場【会場：真宗教化センターしんらん交流館・真宗大谷派宗務所】
《第1～4、修了式日程》 2018年8月22日（水）～26日（日）

② 九州会場【会場：九州大谷短期大学】
《第1・2日程》 2018年7月7日（土）～8日（日）
《第3日程》 2018年10月20日（土）
《第4・修了式日程》 2019年1月26日（土）～27日（日）

③ 東京会場【親鸞仏教センター】
《第3・4日程》 2018年9月8日（土）～9日（日）
《修了式日程》 2018年12月1日（土）※フォローアップ講座同時開催

④ 名古屋会場【同朋大学】
《第2日程》 2018年7月21日（土）《第3日程》 2018年9月22日（土）
《第4日程》 2018年10月6日（土）《修了式日程》 2018年11月24日（土）

(2) 保育心理士フォローアップ講座

保育心理士資格は5年間の有期資格であり、その資格更新のためにフォローアップ講座を開催した。

期 日：2018年10月21日（日）【会場：九州大谷短期大学】
2018年12月1日（土）【会場：親鸞仏教センター】

講 師：牧野桂一氏（保育心理士会代表）

(3) 連区、支部研修会での資格取得講座の開催、フォローアップ講座の開催
「保育心理士資格取得講座」の全国展開のため、連区、支部より共催として行った。

【連区・支部研修会】

連区・支部	開催期日・期間	
	資格取得講座	フォローアップ講座
名古屋		2019/2/23
岡崎		2019/2/9・5/18
東海	2019/6/22	2019/6/22
日豊		2019/5/31
東北		2019/6/22-23

【エリア】

エリア	開催期日・期間	
	資格取得講座	フォローアップ講座
札幌	2018/8/4・8/5・10/13・10/14・12/1	2018/12/1
仙台	2018/9/30・10/14・10/28・11/11・11/25・12/9	
栃木		2018/8/24・2019/1/8・2/15
岐阜	2018/4/21・5/19・6/2・6/23・9/15・11/3・11/24	2018/6/2・9/8・9/15・2019/2/23
愛知		2019/2/9・2/23・
新潟	2019/6/15	2018/12/15・2019/6/15
兵庫	2019/3/9・3/10・6/8・6/9	
滋賀		2018/8/26・2019/2/24
広島		2018/12/23・2019/6/8
香川		2018/5/20・6/23・8/5・9/8・10/28・11/17
大分		2018/9/4・2019/1/28
福岡	2018/6/23・7/14・8/25・9/8・11/24 2019/1/26・2/23	2018/7/4・7/13
長崎	2018/8/19・2019/4/14	
熊本	2018/5/19・5/20 2018/7/21・7/22・8/18・8/19	2018/5/20・7/22・8/19
鹿児島		2/10

(4)「保育心理士会賛助会員」の募集

保育心理士資格の更なる普及と、多くの方々の理解を得るために賛助会員を募った。

保育心理士会賛助会員・賛助会員年会費

認定種別	年会費	対象者	加入条件
一種会員	3,000円		
二種会員	3,000円		
賛助会員（個人）	3,000円	加盟園の設置者	保育心理概論の講義受講で入会可
賛助会員 （法人・大谷保育協会加盟園）	なし		申請で入会可
賛助会員 （法人・大谷保育協会非加盟園）	3,000円		申請で入会可

(5)その他

① 認定に関する諸会議

【保育心理士認定委員会】

2019年1月12日（土）

【保育心理士会集会】第11回保育心理研究会と併催

期 日：2019年1月13日（日）

会 場：大谷大学

【保育心理士講師集会】

※今年度は開催なし

【保育心理士会幹事会】

2018年10月30日（火）、2019年1月12日（土）

【エリアマネージャー会議】

期 日：2019年1月12日（土）

会 場：真宗大谷派宗務所

※第11回保育心理研究会前日に開催

【認定委員会体制強化検討委員会】

2019年5月14日（火）

② 保育心理士（1種・2種）養成校との協議会

今年度は開催なし

Ⅲ 啓発・広報事業（公益目的事業）

保育者、保護者等子育てにかかわる人、団体等に情報を発信し、子育て支援の一端を荷うべく、協会の活動を一般社会に公開し、研修事業等への参加を呼び掛けるとともに、子育てや心の課題に関する情報を提供した。

(1) 機関誌等の配布

- ① 月刊誌「真宗保育」第431～442号を頒布する。
「巻頭コラム」は、協会内外から「真宗保育」についての意見が発信されるコーナーとした。
- ② こどもニュース7（第13号）発行
テーマ：第3期「こどものうた」の配信について
発行日：2019年2月1日
- ③ 機関誌「ほいくしんり」（11号）発行

(2) 協会ウェブサイト ホームページの運営

協会関係者以外の方の閲覧を想定した協会ウェブサイトの見直し、スマートフォン閲覧にも対応ができるシステムを構築した。

協会（静的）のこと・研修（動的）のことについて見分け（メリハリ）をつけ、わかりやすい情報発信をしていく。

またリアルタイムで情報更新を行い、各支部や加盟園の活動報告を掲載するなど協会全体で情報を共有できるようシステム作りを検討した。

(3) 園児絵画展

加盟園での情操教育の基礎となっている真宗保育にも触れていただくことを願いとして、園児の絵画を公募し、御正忌報恩講期間にあわせて、京都駅地下公益ギャラリーや真宗本廟（東本願寺）に展示し、不特定多数の方々にご覧いただいた。

期間：2018年11月14（水）日～11月28日（水）

会場：真宗本廟（東本願寺）御影堂北側高廊下、しんらん交流館、
京都駅公益地下ストリートギャラリー

出展：全国加盟園及び京都市内の幼稚園・保育園・認定こども園の園児

(4) “こどものうた” 事業

これまで研修テーマを題材として、日々の保育の中で子どもたちが口ずさみ、歌い継がれていくような願いのもと、2013年度より1期2年間、5期10年継続の計画として展開され、第2期まで一般公募より制作事業を進めてきた。

第3期は公募の形を変更し、作詞・作曲を中川ひろたか氏、歌を陽香に引き続き依頼し、TuneCoreJapanを通じて、楽曲配信を行った。

(5) 「子どもの森づくり運動」への参加

NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク主催による、就学前児童に向けた『自然体験学習プログラム』普及への協力団体として希望園が参画し、自然保護、環境学習の意識高揚に努めた。(現在、8ヶ園の加盟園が参加している)

【広報部会】 2018年11月20日(火) 会場：真宗大谷派宗務所

2019年2月21日(木) 会場：しんらん交流館

IV 加盟園交流事業（相互扶助等事業）

「子ども・子育て支援新制度」についての情報交換、施行にともなう協会加盟園の動向についての把握に努めた。また設置者・園長等研修会において、全国支部より参加した設置者・園長・後継者と情報交換を行った。

(1) 人材発掘のための取り組み

① 設置者・園長等研修会での周知

設置者・園長に加え、後継者も参加する設置者・園長等研修会において、協会の活動内容等について周知すべく情報交換を行った。

② 人材登録制度の設置・継続

各部の事業内容により協会各支部に引き続き依頼をした。

(2) 設置者・園長等研修会（従来の「加盟園交流・研修会」を変更）

協会やそれぞれの園、地域を取り巻く時代環境の情報交換を図った。また、『真宗保育カリキュラム』の普及、活用に取り組んだ。

対 象：理事・園長・設置者・後継者

期 間：2019年2月12日(火)～13日(水)

会 場：真宗大谷派宗務所・大谷大学(京都支部との共催)

講 師：田村 晃徳氏（真宗保育研究所所長・田尻徳風保育園園長）

テ ー マ：『真宗保育カリキュラム』に学ぶ

参加人数：34名

(3) 加盟園加入促進

真宗大谷派関係寺院が運営する協会未加盟の幼稚園、保育園、認定こども園に働きかけ、加盟園の増加に努めた。

(4) 各種保育団体との渉外

各種会合、記念式典等への参加を通じて、各種保育団体との連携、情報交換に努めた。

(5) 「真宗教化センターしんらん交流館」との連携

宗派の青少幼年教化に関する施策事業と連携、共同事業などの方向性等の情報収集に努めた。

(6) 会報「大谷保育」の発行

会報「大谷保育」を毎月1回発行し、全加盟園に配布する。協会内の各種研修会のお知らせ等を掲載した。

(7) 「加盟園就職支援ポスター」の発行

幼児教諭や保育士を目指す宗派養成校の学生に向け、協会の加盟園の周知他、就職先の選択肢の一つになることを願い、加盟園就職支援ポスターを制作した。

(8) その他事業

① 表彰

ア. 保育功労者表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

イ. 永年勤続表彰（全国真宗保育研修大会時に行う）

ウ. 感謝状

会員の園職員が退職するときは、各園（各支部長経由）より報告を受け、感謝状を送る。

エ. 祝電・弔電

加盟園が記念行事等を開催した場合は祝電を送る。また、加盟園の設置者・園長などの功労者が逝去された場合は、弔電を送るとともに加盟園へ伝達した。（各支部長経由）

② 入園式・卒園式への祝辞

各加盟園の入園式・卒園式へ理事長名の祝辞を送った。

③ 各園での記念式典への感謝状

園設立周年行事などに際して、園や協会に対してご功績ある方々に協会名で感謝状を送った。

V 管理部門

協会の総務（経理・労務・人事等）を遂行し、組織運営の充実を図り運営の安定と活動を支えるとともに、公益社団法人として公開すべき情報（電子公告）をWEB中心に適時公開した。

(1) 管理業務の遂行

物品販売作業の軽減（特に請求書・領収書発行作業、在庫管理）を図るため、販売管理システムの活用を図った。

(2) 協会ICT環境の維持、運営

公益法人として公開すべき協会の情報を（電子公告等）公開した。また、協会のICTインフラの維持運営を行った。また、協会保有データの保全と機密性を維持するとともに適時改善した。

(3) 採用情報提供システムの施行

保育士、幼稚園教諭等施設職員不足に対応するために、当協会の全国組織の特徴を生かし、Uターン就職及び真宗保育を望む学生に採用情報を提供する仕組みを試行した。

(4) 協会をPRするパンフレット等の作成

幼児教育・保育団体としての当協会の活動を広くPRするため、「公益社団法人大谷保育協会要覧（仮称）」（パンフレット）の作成を行うべく検討を進めた。

(5) 加盟園情報の収集、管理

会費納入手続き、入会手続きの機会を活用し正確な加盟園情報の収集、管理を行う。定期的な加盟園名簿の改訂を行う。

(6) 常務理事会に関する事項

期 日：2018年9月7日（金）、10月17日（水）、12月17日（月）
2019年2月26日（火）

(7) 役員会等に関する事項

① 理事会に関する事項

ア. 第15回（事業報告・決算承認）

期 日：2018年8月29日（水）／会場：真宗大谷派宗務所

イ. 第16回（臨時：正副理事長・常務理事選出）

期 日：2018年9月13日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

ウ. 第17回（次年度予算・事業計画）

期 日：2019年5月23日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

② 第7回総会

期 日：2018年9月13日（木）／会場：真宗大谷派宗務所

(8) 諸会議に関する事項

①正副部所長会

期 日：2019年4月18日（木）

②総務部会

期 日：2018年7月24日（火）、10月10日（水）、
2018年12月10日（月）、2019年2月13日（水）、4月24日（水）
2019年6月27日（木）

※2018年12月10日、2019年2月13日は、組織部と合同開催